

学研労協 NEWS ニュース

2023年「12.8不戦のつどい」報告

1941年12月8日の真珠湾攻撃の日（開戦記念日）にちなんでつくば地区では12月8日前後に「不戦のつどい」を開催してきました。

今年の不戦のつどいは、12月9日に豊里交流センターで石上徳千代氏（茨城県歴史教育者協議会）に「つくばの芝畑を教材にした戦争学習～なぜ、長野県の人がつくば市に来て芝畑を作ったのか～」というタイトルでお話をお願いしました。小学校で教鞭を執る石上氏は、つくば市で芝の生産が盛んな理由を4年生の授業の中で子どもたちと一緒に考えました。その過程で子どもたちは、長野県から満蒙開拓団として満州に渡り戦後引き上げてきて、つくば山麓の西筑波陸軍飛行場の跡地に入植し苦労の末芝作りを始めた人たちがいることを知りました。そして、その理由を考え、経緯を知る人たちに質問の手紙を送るなど主体的に調べました。

石上氏の授業の報告を通じて、不戦のつどいの参加者もつくばにおける芝栽培の歴史と、地域の産業や景観に刻まれた戦争の歴史を次世代につなぐ活動のヒントを学びました。